

平成 30 年度

事 業 報 告 書

一事 業 期 間一

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 藤沢市保健医療財団

一目 次一

I 事業報告について	P 1
II 各公益目的事業の事業実績	P 2
1 健診・健康づくり事業【公益目的事業1】	P 2
(1) 事業所等健診・検診事業	P 3
(2) 受託健診・検診事業	P 4
(3) 高度医療機器の共同利用事業	P 6
(4) 保健事業	P 8
(5) 国保特定保健事業	P 18
2 介護保険事業【公益目的事業2】	P 22
(1) 訪問看護ステーションの運営に関する事業	P 22
(2) 居宅介護支援に関する事業	P 23
3 保険調剤薬局運営事業【公益目的事業3】	P 25
(1) 保険調剤薬局の運営に関する事業	P 25
4 法人運営事業	P 27
5 平成30年度最優先課題（緊急施策）	P 33

資料

別表（1）平成30年度健診・検診、検査外来実績	【公益目的事業 1】 P 35
別表（2）平成30年度保健事業実績	【公益目的事業 1】 P 37
別表（3）平成30年度介護保険事業実績	【公益目的事業 2】 P 39
別表（4）平成30年度保険調剤薬局運営事業実績	【公益目的事業 3】 P 41
別表（5）公益財団法人藤沢市保健医療財団 役員及び評議員 (ア)役員	P 42
別表（6） (イ)評議員	P 43
別表（7） 公益財団法人藤沢市保健医療財団 組織図	P 44

平成30年度事業報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

I 事業報告について

藤沢市保健医療財団（以下「当財団」という。）は、平成5年10月に設立され、平成30年度は公益財団法人として8年目を迎えました。平成30年度事業については、藤沢市の公衆衛生と高齢者福祉の向上を図るため、平成30年度事業計画及び財団の経営管理方針並びに平成30年度から開始された第3期中期事業計画に沿って、各事業を進めてまいりました。

当財団は、「生涯健康」をテーマに市民の健康づくりを進めるため、疾病の予防や早期発見に向けた健診（検診）や各種検査の他に生活習慣病の予防・改善を主とした健康の保持増進に関する保健事業を行うとともに、在宅の要介護者や療養者等への訪問看護等の提供、救急医療患者への支援等に取り組んできました。

また、平成30年7月より、心臓に関する検診として非侵襲性心臓ドック、MCG検査、血圧脈波検査などを取り入れました。さらに、糖尿病早期発見のため食後血糖検査についても積極的に勧奨しています。

一方で、経営面からは当財団を取り巻く状況が厳しくなってきているなかで、今後の社会経済情勢の変化への対応や利用者（顧客）ニーズ等に対応することが喫緊の課題となっています。

さらに、公益法人制度改革に伴う公益財団法人への移行による収支相償の制約や、施設の老朽化に伴う改修費用の負担等が経営を圧迫し正味財産が年々減少してきた状況から、経営改善を目的として平成29年3月に藤沢市保健医療財団将来構想案策定委員会を設置し、検討を重ね平成30年3月に藤沢市保健医療財団の将来構想・提言を策定しました。

加えて、財団運営が厳しいことから、平成30年度も昨年度に引き続き最優先課題（緊急施策）などを位置付けし取り組みました。

当財団を取り巻く社会経済情勢や経営環境が一段と厳しさを増してきている状況のなかで、当財団としてもこれら喫緊の課題に対して取り組みを進めるとともに経営基盤の安定を図ってまいります。

平成30年度の事業実施から様々な課題や問題点等は迅速に分析・評価し、その改善を行うことはもとより、あらゆる機会を捉え市民の要望や人口構造、社会状況の変化を的確に把握し、今後の事業展開に活かしてまいります。

II 各公益目的事業の事業実績

1 健診・健康づくり事業 【公益目的事業1】

市民の健康づくりの指針となる「元気ふじさわ健康プラン：藤沢市健康増進計画（第2次）」（以下「藤沢市健康増進計画（第2次）」という。）の基本方針に則り、市民の生活習慣病予防・改善及び重症化予防等を推進するため、各種健診や市乳がん検診及び各種がん検診の二次検査を行い、疾病の一次予防、早期発見・早期治療への橋渡しに努めました。

健診から保健指導（生活全般・運動・食生活）、健康づくり・健康教育まで様々な事業を一体的に、かつ積極的に行うことにより保健と医療の連携を促進し、地域保健の充実に努めるなか、平成30年10月に運動型健康増進施設として厚生労働大臣の認定を受けることができました。

超高齢社会で寝たきりや要介護状態にならないための対策として、ロコモティブシンドロームに着目し、年度年齢61才以上の総合健診及びシニア健診受診者に対し、ロコモ測定を実施しました。

また、前回結果や問診票から、診察前問診や診察で糖尿病発症の可能性が高い受診者に食後血糖測定を促し、糖尿病予備群への早期アプローチに積極的に取り組み、新規紹介割引制度では51人の新規受診に繋がりました。

さらに、心臓に特化したコースとして非侵襲性心臓ドック及びMCG検査を導入しました。

当センターのサービス検討委員会等を活用し、新規オプション項目として血圧脈波測定を導入しました。また新たな割引制度の設定、アンケートの分析等を行い顧客サービスに職員一丸となって取り組みました。

CT・MRI検査等の高度医療機器共同利用事業では近隣の医療機関と連携し、各種がん検診の二次検査や検査外来事業により、地域住民の疾病的早期発見・早期治療への橋渡しに努めました。

《 参照：別表(1) 平成30年度健診・検診、検査外来実績(4月～3月実績)【公益目的事業1】P35・36》

(1) 事業所等健診・検診事業

事業所等の健康保険組合員及びその家族等の健康診断を行い、生活習慣病の予防改善に努めました。また、マンモグラフィ装置による市乳がん検診、CT・MRI等の高度医療機器の有効活用により、精度の高い検査を行い地域住民の疾病の早期発見及び予防に取り組み、公衆衛生の向上に努めました。

MRI検査の増枠、午後の健診・検診事業の増枠を計画し、より受診しやすい環境整備に努めました。

① 一般健康診断（労働安全衛生法による健康診断等）

- 対象者 市内事業所に勤務する者 年間 9,400人
- 実施日数 年間 240日

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数)(c)
一般健康診断	9,400人	9,621人	102.4%	98.9%	9,400人 (9,731人)

② 健康保険組合健康診断（総合健診）

- 対象者 健康保険組合の被保険者及び配偶者 年間 2,600人
- 実施日数 年間 240日

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数)(c)
健康保険組合健康診断 (総合健診)	2,600人	2,763人	106.3%	102.0%	2,600人 (2,708人)

③ 全国健康保険協会（協会けんぽ）生活習慣病予防健診

- 対象者 協会健保の被保険者 年間 4,700人
- 実施日数 年間 240日

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数)(c)
全国健康保険協会（協会けんぽ）生活習慣病予防健診	4,700人	5,397人	114.8%	103.4%	4,700人 (5,221人)

④ シニア健診

- ・対象者 61歳以上の希望する受診者
- ・年間 110人

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
シニア健診	110人	140人	127.3%	106.9%	90人 (131人)

⑤ 特定健康診査（社保）

- ・対象者 国保を除く健康保険の被扶養者
- ・年間 190人

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
特定健康診査（社保）	190人	188人	98.9%	104.4%	220人 (180人)

【事業所等健診・検診事業 実施評価コメント】

健診事業の核となる総合健診、シニア健診の総数は、前年度実績を上回る実績を確保しました。協会けんぽ健診は年々実績数が増加するなか柔軟な予約体制に努め円滑に業務が遂行出来るよう取り組みました。

健診事業は、市民の健康増進に必要であるだけでなく、財団の経営面においても重要な位置付けにあり、今後もサービス検討委員会等で顧客確保に向けた分析を継続するとともに更なる受診者サービスの検討も行き受診者数増加に努めます。（取り組みの結果年々僅かではありますが増加傾向です）また、オプション検査の案内に積極的に取り組みます。特に糖尿病予備群への早期アプローチのため、対象となる受診者には積極的に食後血糖測定を勧奨します。（平成29年度：158件 平成30年度：598件）

シニア健診は、今後も高齢者の健康を保持、増進するために長期的な展望を持つ健診として拡充を図ります。

（2）受託健診・検診事業

市民の健康づくりを支援し、疾病予防を推進するため、充実した検査機器を活用し、市及び教育委員会からの委託による精度の高い検診を行いました。

① ヘルスチェック

- ・検診内容 健康度測定等
- ・対象者 国保加入者（30歳代） 年間 700人

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
ヘルスチェック	700人	603人	86.1%	91.5%	900人 (659人)

② 乳がん検診

- ・検診内容 マンモグラフィ検査
- ・対象者 市内在住者（40歳以上） 年間 2,300人

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
乳がん検診	2,300人	2,302人	100.1%	107.9%	2,200人 (2,133人)

③ 学童検診

- ・検診内容 糖尿病検診、腎臓病検診
- ・対象者 教育委員会から指定された小・中学生 年間 50人

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
学童検診	50人	25人	50.0%	83.3%	50人 (30人)

【受託健診・検診事業 実施評価コメント】

ヘルスチェックは、受診者が利用しやすい環境を整えるため、市と協議し当センターで今年度も日曜健診を3月末に実施しましたが、実績数増につながりませんでした。

年々受診対象者数減少で厳しい状況ではありますが、今後も市担当課と引き続き生活習慣病の早期発見の必要性等について周知に努めてまいります。

乳がん検診は、前年比を上回りました。予約状況にあわせて検査枠を調整し円滑に業務を遂行するよう取り組みました。日曜検診を10月と3月に2回行い、受診しやすい環境を整えました。今後も検査枠の調整等を積極的に行い円滑な受診体制に努めます。

乳がん検診に関する市民への啓発活動を行い、新規受診者の拡充につなげるとともに、藤沢市全体の受診率向上につながるよう取り組みます。

(3) 高度医療機器の共同利用事業

地域の診療所では、単独での設置が難しい高度医療機器を設置し、藤沢市医師会・藤沢市歯科医師会等と連携した共同利用事業として、地域の診療所等からの依頼による検査外来を行い、疾病の予防と早期発見に努め、地域医療、地域保健の向上を図りました。

① 検査外来

・実施日数 年間 240 日

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度 比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
M R I 検査	3,600 人	3,649 人	101.4%	95.0%	3,600 人 (3,843 人)
C T 検査	3,000 人	3,184 人	106.1%	108.2%	3,100 人 (2,944 人)
肺がん、結核二次検診	850 人	743 人	87.4%	83.4%	850 人 (891 人)
超音波検査	2,100 人	2,150 人	102.4%	97.6%	2,100 人 (2,203 人)
乳房検査	850 人	786 人	92.5%	88.0%	950 人 (893 人)
内視鏡検査	300 人	195 人	65.0%	60.4%	400 人 (323 人)
骨密度測定	60 人	61 人	101.7%	37.2%	60 人 (164 人)
その他の各種検査	700 人	651 人	93.0%	97.0%	750 人 (671 人)
合 計	11,460 人	11,419 人	99.6%	95.7%	11,810 人 (11,932 人)

【高度医療機器の共同利用事業 実施評価コメント】

M R I 検査は、検査枠増加や新規開業への訪問営業に努めましたが猛暑だった夏期とインフルエンザ流行時期に検査件数が減少し前年度比を下回りました。今後も予約管理を徹底し、検査数増加に取り組みます。

C T 検査は、前年度実績を上回り過去5年最高件数を確保しましたが、肺がん・結核二次検診は、前年度実績を下回りました。今後も検査精度の維持に努め、また繁忙期と重複する中、より円滑な予約体制を整え検査枠確保に取り組みます。

超音波検査は、心臓・腹部超音波検査が増加しましたが表在超音波検査が減少し前年比より微減しました。今後も検査精度の向上に努め予約枠を調整し受診者数増加に取り組みます。

上部消化管内視鏡検査は、検査外来において年々減少傾向にありますが、健診での需要が多く総合件数は増加傾向です。今後も検査精度向上に努めます。

骨密度測定は、前年度の特定医療機関からの依頼が大幅に減少し前年度実績を大きく下回りました。

今後、新規医療機関の開業が近隣に予定され、また他施設でも地域連携強化に取り組む中、今後も当センターを継続利用していただくために検査精度を一層高くし、利便性や迅速性に努めサービスの向上に取り組みます。

(4) 保健事業

市民の健康づくりの拠点施設として、昨年7月、運動型健康増進施設の申請を行い、10月に厚生労働大臣の認定を受けることができました。

各事業においては、個人の健康状況に合わせた健康支援プログラムや、市民が自主的に健康づくりに取り組める環境づくり及び地域で展開している身体活動促進の取り組み支援を行いました。また、ソーシャルキャピタルを活用した地域団体との連携による健康イベント等を通して、健康づくりの普及・啓発にも積極的に取り組みました。

市民の誰もが気軽に当財団で健康づくりが行えるよう、健診受診者を対象に健診から健康づくり支援まで、一貫した流れの利用を促進する中で、新規利用者の増大を図りました。

国保特定保健事業では、ヘルスチェックや特定健康診査（以下、特定健診という）、特定保健指導の利用率の低迷改善を図るために、電話等による利用勧奨を行い、健診結果説明会等により生活習慣病予防、生活習慣改善につながる健康教育を実施しました。

《 参照：別表(2)平成30年度保健事業実績(4月～3月実績)【公益目的事業1】P37・38》

① 健康づくり個別支援事業

藤沢市健康増進計画(第2次)の基本方針である、市民一人ひとりの生活習慣の改善、及び生活習慣病の重症化予防と健康づくりに取り組みやすい社会環境整備の大切さを踏まえ、健康づくりへの動機づけを高めるための普及活動や健康づくりに関する情報提供など、市民の健康づくりを支える事業に取り組みました。

○ 健康支援プログラム事業 [健康増進課：受託事業]

生活習慣病予防及び重症化予防を目的として、健診結果を基に健康相談を実施し、必要な方には食生活支援、運動支援等も行い、個々の健康状態に合わせた生活習慣改善に取り組みました。

- ①生活習慣病予防コース （新規者） 6ヶ月＋延長6ヶ月
 - ②継続支援コース活支援 （生活習慣病予防コース終了者） 6ヶ月＋延長6ヶ月
- また、健康支援プログラムを終了された方には、自主事業として運動支援主体のプログラムを提供しました。
- ・健康支援プログラム
- 受託事業 年間 250人

(単位：人)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
健康支援プログラム	250 人	270 人	108.0%	73.2%	250 人 (369 人)

【実施評価コメント】

今年度は、昨年度よりも利用者数は減少しました。特に、継続支援コースの減少が大きく、その原因として生活習慣病予防コースで個々に設定した目標の達成率が約8割と高かったため、継続支援コースに移行せず修了する方が多かったことが考えられます。しかし、新規者も減少しているので、来年度も講座やイベント等で積極的に事業を周知していきます。

今後も健康診断後の健康支援として、市民の生活習慣改善支援を行っていきます。また、健診センターとの連携を深め、健診後の保健指導の充実に努めます。

○ 生活習慣病予防等事業 [健康増進課：受託事業]

健康寿命延伸のため健康増進計画における7分野（栄養・食生活、身体活動・運動、歯・口腔、喫煙、飲酒、休養・こころ、生活習慣病予防の取り組み）を基に生活習慣病予防、生活習慣改善を目的とした事業（生活習慣病予防・重症化予防教室、小児生活習慣病予防教室、禁煙支援、健康相談（電話／窓口）を行いました。

- ・対象者 市民
- ・費用 無料
- ・開催回数 80 回

(単位：人)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
生活習慣病予防等事業	930 人	622 人	66.9%	125.9%	930 人 (494 人)

【実施評価コメント】

今年度は小児生活習慣病予防教室の回数が増えたため、実績数が昨年度よりも増加しています。テーマや会場によって参加者数にバラツキがありますが、生活習慣病予防対策として市の重点事業となっているため、主管課である健康増進課と共に、市民の健康寿命延伸支援となるよう、今後も積極的に取り組んでいきます。

○ 健康度チェック [健康増進課：受託事業]

健康支援プログラムを実施するためのメディカルチェックで、市民の健康度を測定し、リスクの層別化を行いました。また、年齢を問わず健診機会の少ない方にも提供しました。

- ・対象者 市民 年間 50人
- ・費用 10,650円／人（内訳）①利用者負担分 5,250円／人
②市負担分 5,400円／人

（単位：人）

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
健康度チェック	50人	39人	78.0%	95.1%	70人 (41人)
【実施評価コメント】					
健康支援プログラムの開始にあたっては、健康度チェック以外に、特定健診や他の健診結果等でも代用することが可能なことから、計画数には達しませんでした。また、39歳以下の市民など、健康診断を受ける機会が少ない方のために実施していますが、市民の認知度が低いため、来年度は広報掲載も含め積極的に周知していきます。					

○ 体力度チェック [健康増進課：受託事業]

健康支援プログラム参加者で、健康づくりトレーニングを実施する方やご自身でスポーツを実施している方のメディカルチェックで、体力レベルを測定し、安全に効果的な運動を実施するために、利用者が自分の体力に合った健康づくりのための運動ができるよう、当財団医師の管理のもとに行いました。

新規利用者の拡大を図るため、初めて健康支援プログラム：健康づくりトレーニングを利用される方を対象に、体力度チェック費用の自己負担分（5,000円）を財団が負担しました。

また、健康づくり支援強化策として、当センターの総合健診受診者及びシニア健診受診者についても、自己負担分を当財団が負担し健康支援プログラムへの参加を促進しました。

- ・対象者 市民 年間 500人（新規者は全員、継続者はハイリスク者が対象）
- ・費用 8,850円／人（内訳）①利用者負担分 5,000円／人
 - ・継続利用者は 5,000円／人
- ※継続利用者のうち、総合健診受診者及びシニア
 - ・健診受診者は 0円／人（財団が負担）
 - ・新規利用者は 0円／人（財団が負担）
- ②市負担分 3,850円／人

(単位：人)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
体力度チェック	500 人	566 人	113.2%	99.5%	500 人 (569 人)

【実施評価コメント】

今年度も計画数を上回り、昨年実績とほぼ同数でした。新規者は昨年度よりも 21 人 (16.5%) 増え、148 人でした。総合健診及びシニア健診の受診者も年々増えており、昨年度より 16 人 (18.0%) 増え、105 人となりました。今後も健診と保健事業の連携を深め、市民の健康づくりを支援していきます。

○ 健康づくりトレーニング [健康増進課：受託事業]

健康支援プログラムの運動支援として、生活習慣病及びメタボリックシンドrome の予防・改善を目的に、主にトレーニングマシンを活用して運動実践（柔軟性・持久力・筋力アップ等）を行いました。

- ・年間（延べ） 25,000 人
- ・費用 500 円／回
 - ・健康支援プログラム新規利用者（1年目）
 - ・総合健診受診者及びシニア健診受診者
- 700 円／回
 - ・継続利用者

(単位：人)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
健康づくりトレーニング	25,000 人	26,268 人	105.1%	102.6%	25,000 人 (25,604 人)

【実施評価コメント】

平成 27 年度に行った、利用料金の改定及び開室時間変更に伴い、利用者数は一時大きく減少しましたが、徐々に増加し、昨年度に比べ今年度は 664 人 (2.6%) 増え、26,268 人となり、計画数を達成しました。課題である新規利用者は、昨年度の 121 人（全利用者の 15.0%）から 147 人（全利用者の 17.8%）に増加しました。そのうち、28 人が紹介制度を利用しました。今後も新規利用者の拡大に努めます。

○ 健康寿命延伸支援事業(旧バラエティ教室) [自主事業]

気軽に行うことができる運動を通して、健康づくり運動を始めるきっかけづくりと日常生活での習慣化、実践方法の習得により、恒常的な健康生活を支援し健康寿命延伸を目指しました。

- ・対象者 市民及び市外者
- ・年間(延べ) 400人
- ・費用 1,080円／回

(単位：人)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
健康寿命延伸支援事業	400人	400人	100.0%	32.3%	1,360人 (1,240人)

【実施評価コメント】

ベルマーレスポーツクラブとの共同事業は平成29年度で終了し、今年度は支出の削減を図りました。また、全ての教室において当財団の職員が事業を実施し、計画数を達成することができました。参加者からも好評で、今後も参加者のニーズにあった教室を開催する中で、集客・収益の確保を目指します。

○ 各種健康保険組合被保険者への支援 [自主事業]

各種健康保険組合被保険者の特定保健指導対象となる方に対して、動機付け支援及び積極的支援を行いました。

- ・年間 15人

(単位：人)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
各種健康保険組合被保険者への支援	15人	8人	53.3%	66.7%	15人 (12人)

【実施評価コメント】

平成30年度は計画数には達しませんでした。

社会保険加入者は、比較的若い世代で、働き盛りでもあり自身の健康管理が後回しになる傾向が強いため、健康保険組合からの保健指導利用勧奨と合わせて、今後も積極的な勧奨により特定保健指導の利用を促していきます。

② 健康づくり地域普及事業

藤沢市健康増進計画（第2次）の基本方針である、市民一人ひとりの生活習慣の改善及び生活習慣病の重症化予防と健康づくりに取り組みやすい社会環境の整備の大切さを踏まえ、地域での身近な健康づくり支援しました。

ソーシャルキャピタルを有効に活用できるよう人材育成を行い、いつまでも住み慣れた地域で、いきいきと暮らし続けることのできる健康なまちづくりを目指しました。
(ポピュレーションアプローチの活用)

○ 地域支援事業 [健康増進課：受託事業]

市民の健康づくり・生活習慣病予防改善等促進のための普及・啓発支援事業として、藤沢市健康増進計画（第2次）に基づいた、からだ動かし隊、人材育成事業、公園内健遊具活用、生活習慣病予防等地域普及啓発、地域におけるイベント啓発事業等を行いました。

- ・ 対象者 市民
- ・ 費用 無料
- ・ 開催回数 122回

(単位：人)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
地域支援事業	4,200人	4,317人	102.8%	88.8%	5,230人 (4,864人)

【実施評価コメント】

本事業は、ラジオ体操・軽体操講習会、からだ動かし隊・生涯学習出張講座・ボランティア人材育成への派遣指導、さらに公民館まつり、骨と関節の健康フェスティバル等、健康増進課と共に身近な場所で行える市民の健康づくり支援を実施しました。昨年実績を下回っていますが、からだ動かし隊、出張講座等、地域での健康講座は、昨年同様の需要があり、計画数を達成する事ができました。

今後も各地域に出向き、健康づくりに取り組める環境を整備して、多くの市民に普及・啓発できるよう努めます。

○ 地域派遣事業 [自主事業]

地域の健康づくり支援の強化を図るために、みらい創造財団や地域団体、公民館等との連携を進め、保健師や管理栄養士、健康運動指導士等の講師派遣による気軽に身近な健康講座等を実施しました。また、湘南大庭地区を中心とした藤沢市地域包括ケアシステムの構築に向け、多機関連携にも取り組みました。

- ・対象者 市民及び市外者
- ・費用 有料
- ・派遣回数 年間 10回

(単位：人)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
地域派遣事業	5,000人	5,269人	105.4%	106.9%	1,000人 (4,929人)

【実施評価コメント】

今年度も、各種市民団体等の依頼に応じて健康づくり啓発のイベントへの参加、生活習慣病予防・改善や介護予防等のテーマで講話や実技などを行いました。

文化芸術課からの依頼である「こころの劇場：市内の小学校6年生を対象にした劇団四季の演劇鑑賞」を今年度も実施したため、計画数より実績数が多くなっています。

今後も様々な依頼元の要望に応えられるよう、健康支援に取り組んでいきます。

○ 医師会との連携事業 [自主事業]

当財団のトレーニング・保健指導事業等の健康支援機能を効果的に活用しながら、藤沢市医師会と連携し、整形外科医会医師によるロコモティブシンドローム（以下「ロコモ」という。）対策をテーマとした講座を行いました。

- ・対象者 市民 約50人／回
- ・場所 保健医療センター他
- ・開催回数 2回

(単位：人)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
医師会との連携事業	100人	79人	79.0%	127.4%	100人 (62人)

【実施評価コメント】

今年度も、藤沢市医師会整形外科医会医師による講話及び当財団の管理栄養士と理学療法士による講話を行いました。昨年7月に藤沢市保健医療センター（52人）、11月に秩父宮記念体育館（27人）で実施しました。

今後も医師会と協力・連携し、市民の健康づくりの要望に応えられるよう内容を充実させ、健康情報の発信、健康づくりへの入口となるよう努めます。

○ 調査・研究事業 【自主事業】

藤沢市や市内の大学及び健康支援関係のN P O法人等と連携し、市民の生活習慣改善や健康づくりに向けた調査・研究を行い、その結果を公表し、受託事業や自主事業に反映させながら市民の健康意識向上の普及・啓発に取り組みました。

【実施評価コメント】

藤沢市及び慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科と共に「ふじさわプラス・テン交流会」を開催し、身体活動促進の啓発を行いました。また、昨年からみらい創造財団スポーツ事業課と共にスポーツ施設における安全管理体制の整備を進めており、セルフチェックシートの集計・分析や合同研修会及び人材交流などを行いました。今後も関係機関と連携しながら、様々な調査・研究に携わり、健康寿命延伸につながる事業に取り組んでいきます。

③ 介護予防・障がい者の支援に関する事業

高齢者や障がい児者及びその家族や介護者に対して、日常生活を少しでも快適に過ごせるよう、ロコモ対策やQ O Lの向上を図るために集団運動教室や相談事業を行いました。

○ コンディショニングトレーニング 【自主事業】

生活習慣病及びロコモティブシンドロームの予防・改善を目的として、自重による筋力トレーニングや棒・ボールなどの道具を用いて、日常生活力をアップするための運動実践を集団・個別指導で実施しました。

- ・年間（延べ） 8,000人
- ・費用 600円／回

(単位：人)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
コンディショニングトレーニング	8,000人	7,580人	94.8%	99.7%	8,000人 (7,604人)

【実施評価コメント】

介護認定を受けていない高齢者等を対象に、身体の動きを良くするための運動を行いました。今年度も様々な事業において紹介制度を全面に打ち出した周知を行いましたが、計画数には至りませんでした。湘南大庭地区を筆頭に、高齢化の進展やフレイル対策等、潜在的な不安を抱えている高齢者も多いことが予測されることから、今後

も事業案内、紹介制度等を積極的に行い、利用者の増大につながるよう努めています。

○ 介護予防事業 [地域包括ケアシステム推進室：受託事業]

地域の高齢者が要介護状態の発生及び悪化を防ぐと共にその軽減を目指し、介護を必要としない生活を営めるよう、ロコモ予防の運動実践を中心に行いました。

- ・対象 65歳以上の市民
- ・費用 無料
- ・開催回数 24回

(単位：人)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
介護予防事業	480人	256人	53.3%	85.3%	600人 (300人)

【実施評価コメント】

今年度も「ロコモ予防チャレンジ講座」を公募型入札により4会場分を落札し、実施しました。計画数に達しなかった要因としては、市内18カ所で毎回同内容の運動指導をほぼ毎月開催し、自宅での運動実践を促進する展開としているため、新規者の獲得及びリピート参加が困難であることが考えられます。今年度の申し込み状況や参加者の意向をまとめ、次年度計画の参考となるよう主管課へ報告しました。

昨年度より当財団も電子入札に対応できる体制作りを行ったため、今後多くの介護予防事業を実施できるよう努めます。

○ 障がい者等生活改善相談事業 [障がい福祉課：受託事業]

障がい者、高齢者及びその家族や介護者（施設職員含む）に対し、日常生活のQOLの向上を図るため、保健医療センターでの相談と合わせ、障がい者福祉施設（2施設・月3回）への出張対応等により多くの方に生活改善等の相談を行いました。

- ・対象 市民
- ・費用 無料
- ・開催回数 60回（当財団内での相談24回、出張相談36回）
- ・出張相談施設：藤沢市高次脳機能障がい者相談支援事業者「チャレンジⅡ」
児童発達支援センター「ぶれっじ」

(単位：人)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
障がい者等生活改善相談	200 人	274 人	137.0%	95.5%	200 人 (287 人)

【実施評価コメント】

当センターでは来所による相談と、訪問での住環境整備や適サービス導入等も行いました。若年層や障がい者の相談も徐々に増加しており、地域の相談員（他事業所）と協力しながら相談対応をするケースが年々増えています。

出張相談では各施設で障がい児者及びその家族からの相談を受け、介入を行いました。事後フォローも実施し、他機関との連携なども行いながら、地域連携の強化にも努めています。特に子供の療育に関しては主管課だけでなく関連機関との連携強化も急務となっています。

今後も年間を通して定期的な相談事業として進めていき、藤沢型地域包括ケアシステムの構築へ向けた取り組みにも、積極的に参加していきます。

(5) 国保特定保健事業

特定保健指導は、生活習慣病、特にメタボリックシンドローム（以下「メタボ」という。）の予防及び健康の確保を目的としています。さらに、医療費の適正化にも資することを目指しています。

各医療保険者に対し、メタボ対象者に動機付け支援と積極的支援が義務づけられており、当財団も藤沢市からの委託を受け、市内で実施される特定健診でメタボと判定された方の動機付け及び積極的支援を実施しました。

また、特定保健指導の対象外であっても、高血圧、脂質異常、糖尿病などのリスクを保有している方には、特定保健指導に準じたプログラムを実施しました。

○ 特定保健指導[保険年金課：受託事業]

市内で実施される特定健診でメタボ予備群と判定された方の動機付け支援、積極的支援を行いました。

- ・対象者 藤沢市国民健康保険被保険者のうち、特定健診受診者
- ・人 数 ① 動機付け支援 130 人
② 積極的支援 20 人

(単位：人)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
(1)動機付け支援	130 人	205 人	157.7%	161.4%	130 人 (127 人)
(2)積極的支援	20 人	22 人	110.0%	200.0%	20 人 (11 人)

【実施評価コメント】

今年度は動機付け支援、積極的支援とともに計画数を上回る実績となりました。集団で行う教室形式の支援方法への参加者数は、リマインド案内を対象者へ通知したことできく伸びています。また、特定保健指導の利用勧奨を電話で行っており、実績に結びついています。今後も利用勧奨を丁寧に行い実施率の向上に努めます。

※平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日の初回面談終了者を記載

○ 特定健診結果説明会 [保険年金課：受託事業]

特定保健指導の対象ではないが、生活習慣病リスク（高血圧・脂質異常・耐糖能異常など）を保有する市民に対して、保健所及び市内公民館等において特定健診結果説明会を開催し、日常生活で無理なく生活習慣改善が図れるよう、集団指導によ

る健康づくり支援を行いました。

・実施予定 年間 全 10 回開催

・対象者 藤沢市国民健康保険被保険者 200 人 (20 人／回)

(単位：人)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
特定健診結果説明会 (旧ヘルスアップ教室)	200 人	68 人	34.0%	57.6%	150 人 (118 人)
【実施評価コメント】					
今年度は、特定健診のお知らせと広報にて教室周知を行いました。個人への通知案内を発送していた昨年度よりも予約数が少なく、年間実施計画のうち 2 回（6 月、7 月）は、予約申込みがなかったため中止にしていることもあり、計画数には至りませんでした。次年度は、今年度の結果を踏まえて、開催時期・回数を見直して実施する予定です。					
今後も対象となる方の生活習慣改善を図るために、保険年金課と調整を行いながら参加者確保に努めています。					

○ 国保ヘルスチェック事業 [保険年金課：受託事業]

藤沢市国民健康保険加入者で 31 歳～ 39 歳の方を対象とした健康診断を実施し、健診受診後のフォロー・保健指導までを行いました。

(1) 検査結果の説明と 22 項目の質問票を基にしたヘルスチェック健康支援

(2) ヘルスチェックの受診勧奨

(3) ヘルスチェック保健指導

健診結果が、特定保健指導の基準により対象となった方に対して、藤沢市特定保健指導に準じた保健指導を実施

(4) 要医療者への受診勧奨

ヘルスチェック健診(特定健診に準じた若年者の健康診査)については、「受託健診・検診事業」に記載

(単位：人)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
(1)ヘルスチェック健康支援	700 人	603 人※	86.1%	117.5%	800 人 (513 人)
(2)ヘルスチェック受診勧奨	4,000 人	3,519 人	88.0%	—	—

(3)ヘルスチェック保健指導	70人	0人	0%	—	—
(4)要医療者への受診勧奨	70人	50人	71.4%	—	—
【実施評価コメント】					
ヘルスチェック健康支援は、ヘルスチェック健診受診者への支援として、健診結果と質問票の結果から受診者全員に生活習慣改善のためのアドバイスを行いました。保健指導に関しては、多忙を理由に実施につながらないケースが多くなっています。					
保健指導や適正受診等につなげることが難しい多忙な年代ですが、30代からの生活習慣病予防につながるよう、今後も受診勧奨により一人でも多くの人に健康支援・保健指導を行えるよう努めます。					

※実績数には3月末にヘルスチェック健診を受診し、4月に通信支援を行った数も含む。

○ 特定保健指導利用勧奨事業 [保険年金課：受託事業]

(1) 特定保健指導対象者健診結果説明会

特定保健指導対象者に対し、集団での保健指導を実施

(2) 特定保健指導利用勧奨

特定保健指導対象者に対して一定期間申込みのない場合の電話による利用勧奨
・年間 4,000人

(3) 特定保健指導利用者への特定健診の受診勧奨

前年度に特定保健指導を利用した方を対象に、電話による藤沢市こくほ健診の受診勧奨を行いました。

・年間 200人

(4) 特定保健指導実施機関研修会

市内の特定保健指導実施機関の保健指導従事者を対象に、特定保健指導の進め方や事務処理の方法について伝える研修会

・ 年2回 50人程度

(単位：人)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
(1)特定保健指導対象者健診結果説明会	96人	137人	142.7%	—	—
(2)特定保健指導利用勧奨	4,000人	2,092人	52.3%	100.8%	1,500人 (2,075人)

(3) 特定保健指導利用者への特定健診の受診勧奨	200人	0人	0%	—	—
(4) 特定保健指導実施機関研修会	50人	54人	108.0%	—	—
【実施評価コメント】					
特定保健指導対象者健診結果説明会は、個人通知が9月中旬から行われたため、10月からの実施になりました。説明会参加者の中から多数の人が特定保健指導につながっているため、参加者数は、特定保健指導実施者数と重複します。					
特定保健指導利用者への特定健診の受診勧奨については、保険年金課との調整により今年度は実施していません。					
特定保健指導実施機関研修会は、2回開催し（8月、2月）、市内特定保健指導実施機関との交流の機会にもなり、今後も継続して開催する予定です。					

○ 特定健診受診勧奨等 [保険年金課：受託事業]

（1）対象者への受診勧奨

- 平成30年度に70歳及び60歳になる人のうち、過去3年間に一度でも特定健診を受診したことのある人に、電話による受診勧奨を行いました。

（2）健康診査票確認業務

- 全20,000人程度の健康診査票の内容について確認し、必要に応じて医療機関や本人に電話により確認を行いました。

（単位：人）

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
(1) 対象者への受診勧奨	2,000人	1,489人	74.5%	—	—
(2) 健康診査票確認業務	20,000人	1,000人	5.0%	—	—

【実施評価コメント】

特定健診の受診勧奨については、保険年金課との調整により当初の予定とは対象者を変更し、7月～8月は年度年齢が70歳になる人、9月～10月は60歳になる人で、過去3年間に一度でも特定健診を受診したことがある人のリストを元に、電話による受診勧奨を実施しました。健康診査票確認業務については、保険年金課職員による作業が順調に進み、当初計画よりも実績数は少なくなっています。

今後も保険年金課と協議・調整し、実施していきます。

2 介護保険事業 【公益目的事業2】

要支援・要介護状態にある在宅の高齢者や疾病等により在宅療養を必要とする方に対し、訪問看護ステーションから、介護保険法及び健康保険法による訪問看護及び訪問リハビリのサービス提供を行いました。あわせて、居宅介護支援事業所で、ケアプラン作成等を行い、高齢者の福祉の増進に努めました。

《 参照：別表(3)平成30年度介護保険事業実績(4月～3月)【公益目的事業2】P39・40》

(1) 訪問看護ステーションの運営に関する事業

在宅での療養生活が送れるよう、訪問看護ステーションから専門の看護師や理学療法士・作業療法士が訪問し、療養生活と在宅看取りの支援を行いました。

(事業内容)

主治医の指示書により、医師や関係機関との連携を取りながら、介護保険法及び健康保険法に基づく療養上の支援、診療の補助、リハビリ等のサービスを提供するとともに在宅生活を支援しました。

(取扱回数)

訪問看護及び訪問リハビリ

・1箇月平均 521.1回

(単位：回)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
訪問看護・リハビリ	9,500回	6,253回	65.8%	73.2%	9,000回 (8,548回)

【実施評価コメント】

訪問回数は昨年度より減少しました。その原因是、主に訪問リハビリ職員の減等により、サービス提供の減少が否めなくなつたことなどによります。

訪問リハビリ等職員（臨時職員）の確保のため、ホームページをはじめ広報ふじさわ（5/25号）、ハローワーク等により募集し、その結果9月に理学療法士1人（臨時職員）の採用ができました。その後、無料求人サイトに登録し求人の強化に努めましたが、訪問看護師1人、リハスタッフ1人の不足解消には至りませんでした。また、利用者確保のため近隣の地域包括支援センター、居宅介護支援事業所への訪問や医療機関、多職種連携などの研修等に参加し交流を図る中で利用者確保に努め、10月末までに減少していた利用者数は11月以降増加に転じています。

なお、サービスの質の向上を図るため、利用者アンケートを12月に実施し、利用者から高い評価を得ることができました。

1)訪問看護利用者数：H29.4末現在 142人
 　　H30.4末現在 99人
 　　H30.10末現在 88人
 　　H31.3末現在 104人

2)リハビリ担当職員：H30.3末現在 5人(PT 2人、OT 3人)
 　　H30.4末現在 2人 (3月末臨職 PT▲2人退職, 4/1 正規 OT▲1人居宅に異動)
 　　H30.6/12から、OT 1人 産休・育休(6/12現在, PT 0人、OT 1人)
 　　H30.9/1から、PT 1人 採用 (9/1現在, PT 1人、OT 1人)
 　　H31.3末現在 2人(PT 1人、OT 1人)

※PT(理学療法士)、OT(作業療法士)

(2) 居宅介護支援に関する事業

要介護高齢者等が、居宅において必要な保健医療サービスや介護福祉サービスを適切に利用できるよう、居宅介護支援事業者として支援を行いました。

① ケアプランの作成

要介護高齢者等からの依頼を受けて居宅サービス計画を作成するとともに、その計画に基づき適切な居宅サービスの提供が確保されるよう、サービス提供事業者等との連絡調整と計画の管理を行いました。

・取扱件数 1箇月平均 106.8件

(単位：件)

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
ケアプランの作成	1,500件	1,282件	85.5%	118.3%	1,200件 (1,084件)

【実施評価コメント】

ケアプランの作成については、指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準(平成 11.3.31 厚令 38)により、受け入れ人数に一定の制限があることから、予防・介護プランとのバランスを取りながら実施しました。

引き続き、利用者の希望に応えられるよう執行体制の維持・向上に努めています。

② 認定調査

新規、更新（1年から3年等の期間更新）、変更などの申請を市に提出し、それに基づき、市からの依頼を受け、本人、家族の立会いのもとに、訪問調査（要介護認定調査票の作成など）を実施しました。

- ・取扱件数 1箇月平均 11.3件

（単位：件）

実施項目	平成30年度				平成29年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
認定調査	140件	135件	96.4%	100%	132件 (135件)

【実施評価コメント】

保険者(藤沢市及び県内外他市)からの調査依頼に対し、積極的に対処しました。

引き続き、保険者からの要請に応えられるよう執行体制の維持・向上に努めていきます。

3 保険調剤薬局運営事業 【公益目的事業3】

一次救急医療体制である藤沢市医師会北休日夜間急病診療所、藤沢市医師会北休日夜間急病診療所・耳鼻科（広域救急）、藤沢市北部歯科診療所（障がい者・要介護高齢者歯科）の開設に伴う救急患者等への保険調剤を行うため、藤沢市薬剤師会の協力により保険調剤薬局の運営を行いました。

（1）保険調剤薬局の運営に関する事業

《 参照：別表(4)平成30年度保険調剤薬局事業実績(4月～3月)【公益目的事業3】 P41 》

（事業内容）

次の診療所開設に伴い、調剤、投薬、薬歴管理、服薬指導、医薬品情報の収集等の管理業務を行いました。

- 藤沢市こまよせ薬局 開局（業務）時間
 - 平日（月～金） 8時30分～12時、13時～17時、20時～23時
 - 土曜日 18時～23時
 - 休日 9時～17時、18時～23時

※平日夜間、土・休日の調剤及び服薬指導等の業務については、藤沢市薬剤師会へ委託して運営しています。

（診療所）

- 藤沢市医師会北休日夜間急病診療所
 - 平日夜間 20時～23時
 - 休日昼間 9時～17時
 - 土・休日夜間 18時～23時

（※23時～翌7時30分までは、院内処方対応）
- 藤沢市医師会北休日夜間急病診療所耳鼻科（広域救急）
 - 休日昼間 9時～17時
- 藤沢市北部歯科診療所（障がい者歯科・要介護高齢者歯科）
 - 障がい者歯科 木・土 13時30分～17時
 - 要介護高齢者歯科 木・日 9時30分～12時30分

(受付処方せん枚数)

実施項目	平成 30 年度				平成 29 年度
	計画数 (a)	実績数 (b)	達成率 (b)/(a)	前年度比 (b)/(c)	計画数 (実績数 c)
調剤等業務	13,750 枚	13,376 枚	97.3%	93.5%	13,750 枚 (14,311 枚)

【実施評価コメント】

こまよせ薬局の受付処方せんは、藤沢市医師会北休日夜間急病診療所の発行処方せんがそのほとんどを占めており、そのため、年間の受付処方せん枚数は、年末年始等の連休期間の患者数や感染症、特にインフルエンザの患者数によって増減する傾向があります。

平成 30 年度は当初計画数、前年度実績数に比べて減少しています。

月別の受付処方せん枚数については、9 月、1 月以外は、前年度に比べて減少しており、1 月はインフルエンザの流行に伴い、増加しました。

前年度と比較して、受付処方せん枚数が減少した原因としては、近隣他市において、休日夜間診療所が整備され、藤沢市以外からの患者数が減少しているためと思われます。

なお、休日夜間診療調剤において、利用者へのサービス向上を目的に藤沢市薬剤師会、及び休日夜間診療調剤に勤務する薬剤師、事務員とも調整を行いました。

後発医薬品については、国も医療費削減の観点から推進しており、患者さんからも後発医薬品使用の要望が増えてきていることから、後発医薬品の採用について関係機関と調整を行い採用数を増やし、增收につなげるよう努力しました。

4 法人運営事業

(1) 管理及び法人運営事業

藤沢市保健医療センターの適正な施設の管理や有効活用を図るとともに、公益財団法人として安定的な運営を行いました。

《 参照：別表(5) 公益財団法人藤沢市保健医療財団 役員及び評議員 (7)役員 P42 》

《 参照：別表(6) (1)評議員 P43 》

《 参照：別表(7) 公益財団法人藤沢市保健医療財団 組織図 P44 》

① 理事会、評議員会を中心とする法人の運営業務

理事会、評議員会の開催（以下記載）及び諸規程等の整備を行いました。

【理事会の開催状況】

第1回 5月16日(水) (理事14名 監事2名)

- (1) 議案第1号専決処分の承認について
- (2) 議案第2号平成29年度公益財団法人藤沢市保健医療財団事業報告及び決算の承認について
- (3) 報告第1号平成29年度藤沢市こまよせ薬局調剤等業務委託について
- (4) 報告第2号公益財団法人藤沢市保健医療財団第2期中期事業計画（平成27年度～平成29年度）の実施報告（案）について
- (5) 報告第3号公益財団法人藤沢市保健医療財団第3期中期事業計画（2018年度～2020年度）（案）について
- (6) その他

第2回 11月28日(水) (理事12名 監事2名)

- (1) 議案第3号特定資産取得・改良資金の取り崩しの承認について
- (2) 議案第4号公益財団法人藤沢市保健医療財団個人情報保護規程の一部改正について
- (3) 報告第4号公益財団法人藤沢市保健医療財団代表理事（理事長）及び業務執行理事（副理事長、専務理事、常務理事）に関する自己の職務の執行状況報告について
- (4) 報告第5号平成30年度公益財団法人藤沢市保健医療財団事業計画の中間報告及び平成30年度資金収支予算の執行状況の報告について
- (5) 報告第6号公益財団法人藤沢市保健医療財団将来構想の取り組むべき課題（緊急度が高い課題）の中間報告について
- (6) その他
 - ①新規導入した循環器検査の経過報告について

- ②藤沢市保健医療センターの運動型健康増進施設認定の報告について
- ③平成30年度藤沢市こまよせ薬局後発医薬品調剤体制加算適用状況及び一般名または後発医薬品名での処方せん発行について
- ④（仮称）湘南大庭病院建設予定に伴う藤沢市保健医療センター第2駐車場整備計画（案）について
- ⑤今後の予定
- ⑥その他

第3回 3月27日(水)（理事14名 監事1名）

- (1) 議案第5号専決処分の承認について
(公益財団法人藤沢市保健医療財団職員の再雇用に関する規則の一部を改正する規程)
- (2) 議案第6号専決処分の承認について
(公益財団法人藤沢市保健医療財団給与規程の一部を改正する規程)
- (3) 議案第7号特定資産取得・改良資金の保有について
- (4) 議案第8号平成30年度公益財団法人藤沢市保健医療財団資金収支補正予算（第1号）について
- (5) 議案第9号平成31年度藤沢市こまよせ薬局調剤等業務委託について
- (6) 議案第10号平成31年度公益財団法人藤沢市保健医療財団事業計画
(案) 収支予算書（案）並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
- (7) 議案第11号平成31年度公益財団法人藤沢市保健医療財団評議員会の開催について
- (8) 平成31年度公益財団法人藤沢市保健医療財団評議員会及び理事会の開催予定について
- (9) その他
 - ①平成30年度「ピンクリボンふじさわ」の活動報告及び今後の「ピンクリボンふじさわ」の活動について
 - ②平成30年度藤沢市こまよせ薬局後発医薬品調剤体制加算適用状況について（報告）
 - ③公益財団法人藤沢市保健医療財団将来構想の取り組むべき課題のうち訪問看護事業の取り組み経過について（報告）
 - ④その他

【評議員会の開催状況】

第1回 5月31日(木)（評議員 8名 理事 4名 監事 1名）

- (1) 報告第1号平成29年度公益財団法人藤沢市保健医療財団事業報告について
- (2) 議案第1号平成29年度公益財団法人藤沢市保健医療財団決算の承認について
- (3) 報告第2号平成30年度公益財団法人藤沢市保健医療財団事業計画及び収支予算等について

(4) その他

- ①平成30年度藤沢市保健医療財団経営管理方針について
- ②公益財団法人藤沢市保健医療財団の将来構想・提言について
- ③公益財団法人藤沢市保健医療財団第2期中期事業計画の実施報告及び第3期中期事業計画について
- ④平成28・29年度インシデント・アクシデントレポート状況について
- ⑤その他

② 組織体制

財団職員のこれまでの技術、ノウハウを最大限に発揮できるよう効果的・効率的な組織体制を構築しました。

※組織及び職員の配置状況 (単位：人)

財団役員	理事・監事は 別表(5) 参照 P42	
財団評議員	評議員は 別表(6) 参照 P43	
財団組織	組織図は 別表(7) 参照 P44	
財団職員配置状況 (平成30年4月1日現在)	副理事長	1
	所長	1
	副所長（診療部長・医療事業部長兼務）	1
管理部	管理部長	1
	総務課	20
	保健事業課	16
	訪問看護課	18
	小計	55
診療部	診療部長（副所長兼務）	—
	診療科	4
	健康支援推進室	3
	小計	7
医療事業部	医療事業部長（副所長兼務）	—
	画像検査室	7
	臨床検査室	9
	看護科	11
	小計	27
合 計		92

③ 保健医療センター施設の管理運営

建物や設備機器の老朽化に伴い、藤沢市と協議しながら安全で安心して利用できる機能施設の確保を図りました。また、藤沢市からの受託事業の見直しに伴い財団自主事業を展開するうえで、施設全体の有効活用の検討を行いました。

④ 保健医療情報の収集及び管理運営

市内医療機関の診療応需等の情報を収集整理し、運用している「診療情報案内システム」は2015年（平成27年）度に更新し、安定稼働、利便性の向上を図るとともに、利用者に役立つ情報の提供に努めました。今後も隨時見直しを行い、利用者の要望に応えるシステムの運用・開発に努めていきます。

また、総合健康情報システム（THIS）は2016年（平成28年）3月に更新し、新たに健診フォローアップや紹介状等のデータ化取り込み等のシステム機能の充実及び利便性向上に努めるとともに、ログ管理等のセキュリティ対策の向上に努めました。

⑤ 機関誌の発行（保健医療センターだより）

各事業の紹介や身近な情報・季節のコラムなど、幅広い情報発信と魅力的な紙面づくりに努めました。

【仕様及び発行】

- A4版4面(A3二つ折り)
- 平成30年度は、年2回発行

2018年9月発行 (vol.20) 2,500部



【紙面】

- 1面：☆しのびによる心臓病と突然死
あなたは大丈夫ですか？
- 2面：☆あなたの今の心臓リスク”を知ろう！
新しい心臓の健康診断はじめました
☆簡単に体を動かせる運動紹介
- 3面：☆乳がんマンモグラフィ検診実施のお知らせ
☆ピンクリボンふじさわ啓発イベント
LOVE ONE'S FOR～受けてみよう乳がん検診
- 4面：☆訪問看護ステーション・居宅介護支援事業
をご紹介します！
☆ホームページのご紹介

【紙面】

- 1面：☆身近な訪問看護ステーションをぜひご利用ください
- 2面：☆食後血糖検査の実施報告
～あなたも食後高血糖になっていませんか～
- 3面：☆ウエルネスプログラム
☆健康支援プログラム利用者の成果をご紹介します！
- 4面：☆日曜日 藤沢市乳がんマンモグラフィ検診実施のお知らせ
☆藤沢市国民健康保険ヘルスチェック日曜健診のご案内
☆ホームページのご紹介



⑥ 医療関係者等の教育、研修に関する事業

(ア) 高度医療機器共同利用研究会

- 実施日 6月4日（月）午後7時30分～午後8時30分
- 場 所 藤沢市保健医療センター 3階研修室
- 演題及び講師
 - ・「非侵襲心臓ドック」開始内容について～特にMCG検査について～
講師：藤沢市保健医療センター 副所長 姫野 秀朗
 - ・心臓突然死予防に向けてMCGとは～デモンストレーション～
- 参加者 当財団職員21人 医師会等27人

(イ) 乳がん検診啓発イベント

ピンクリボンふじさわ啓発イベント

「LOVE ONE'S FOR～受けてみよう乳がん検診～」

- 実施日 9月29日（土）
- 場 所 藤沢市民会館周辺（第45回 藤沢市民まつりと同時開催）
- 内 容
 - ☆「コンサート&講演会」
コンサート出演
麻倉未稀氏、富田京子氏、つるの剛士氏、森次晃嗣氏、琢磨仁氏・琢磨啓子氏

講演会

- ・湘南記念病院乳がんセンター長 土井卓子氏

・認定NPO法人マギーズ東京共同代表・日本テレビ報道局社会部記者

鈴木美穂氏

☆「ワークショップ・相談コーナー」

○参加者 延べ約700人(市民会館小ホール)

⑦ 職員の研修に関する事業

講演会(目的) 公益財団職員としての資質・能力を高めるとともに、専門知識及び技術の向上のために各種の研修に参加した。

(ア) 全体研修

第1回全体研修

- 実施日 6月5日(火)午後4時30分～午後5時15分
- 会場 藤沢市保健医療センター 3階研修室
- 演題 「公益財団法人藤沢市保健医療財団経営管理方針について」
- 講師 公益財団法人藤沢市保健医療財団 副理事長 渡部 敏夫
- 参加者 当財団職員 75人

第2回全体研修

- 実施日 6月21日(木)午後4時30分～午後5時15分
- 会場 藤沢市保健医療センター 3階研修室
- 演題 「情報セキュリティについて」
- 講師 多摩大学経営情報学部 准教授 斎藤 裕美氏
- 参加者 当財団職員 66人

第3回全体研修

- 実施日 10月31日(水)午後4時30分～午後5時15分
- 会場 藤沢市保健医療センター 3階研修室
- 演題 第1回 医療安全について「医療現場のコミュニケーション」
- 講師 第一三共株式会社 柳田 心平氏
- 参加者 当財団職員 77人

第4回全体研修

- 実施日 平成31年3月12日(火)午後4時30分～午後5時15分
- 会場 藤沢市保健医療センター 3階研修室
- 演題 第2回 医療安全について「転倒・転落の予防とクレーム処理」
- 講師 第一三共株式会社 柳田 心平氏
- 参加者 当財団職員 72人

(イ) 職場研修

各職場における専門研修等を実施しました。

(ウ) 派遣研修

各関連の専門機関等（藤沢市等）への派遣研修を実施しました。

5 平成30年度最優先課題（緊急施策）

当財団の運営状況が大変厳しい状況にあることから、平成30年度事業計画に位置づけした最優先課題（緊急施策）、及び平成30年度保健医療財団全体の事業支出費削減対策等について取り組みました。

(1) 平成30年度事業執行について

取り組み項目	主な取り組み内容
①不要不急の事業は実施しない	・不要不急の事業は実施していない
②前例踏襲事業は、その必要性を検討する	・日常清掃業務の内容見直し ・委託業者での配達 他
③自主・受託事業については、その必要性を検討する	・乳がん検診の時間の見直し ・受託業務について検討会議の開催他

(2) 財団の経営改善対策について

取り組み項目	主な取り組み内容
①財団の経営改善に向けて藤沢市と協議をする	・市との協議により平成30年度～令和9年度までの整備計画 他
②全職員からの意見・提案について積極的に取り上げ、財団の経営状況について共通理解を図る	・課内会議等により財団の経営状況の現状について理解と意見等 他
③全職員が顧客確保等に努める	・利用者等への接遇 ・新規開業医療機関への訪問 ・検査の増枠及びキャンセル等空き枠への対応 ・ご意見箱への意見提案への対応 他
④全職員は当保健医療センターでの各種健診の受診に努める	・職員定期健診の受診 他

⑤全職員が無駄を省き経費削減に努める	<ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーレス、両面印刷、消耗品の節約 ・節電（照明、機器等）の徹底 ・エレベータは極力利用しない 他
⑥全職員で保健医療財団将来構想案検討について取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・課内会議での意見集約 ・運動型健康増進施設の認定 他

(3) 平成30年度事業支出費削減に伴う新たな取り組み

取り組み項目	主な取り組み内容
①時間外勤務の縮減について	<ul style="list-style-type: none"> ・課内会議等は業務時間内での実施 他 ※時間外勤務手当縮減効果(平成29年度支給額から約300万円縮減)
②時間外における職員研修及び職場（課内）研修について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全体研修は開催時間を繰り上げ実施 ・課内研修等は業務時間内で実施 他
③被服の貸与について	<ul style="list-style-type: none"> ・貸与被服は継続使用可能であれば延長 他
④施設外における職員研修について	<ul style="list-style-type: none"> ・業務に必要な研修のみを選択 他
⑤新聞、購買雑誌等について	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時に購入 ・共同で最小限度の購入 他
⑥消耗品、備品購入等について	<ul style="list-style-type: none"> ・余分な物品の購入なし 他
⑦各事業主管課における収支相償について	<ul style="list-style-type: none"> ・諸謝金支出の削減 ・繁忙期における検査枠増 他
⑧予算執行の留保について	<ul style="list-style-type: none"> ・メンテナンス、自主点検等により機器等更新時期延長 他
⑨会議等の開催について	<ul style="list-style-type: none"> ・課内会議時間の繰り上げ ・朝のミーティング等により情報伝達の徹底 ・業務時間内での開催 他

資料

別表 (1)

平成30年度健診・検診、検査外来実績（4月～9月）【公益目的事業1】

(単位：人)

事業区分		H30年度実績（4月～9月）							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計① (4月～9月)	
事業所等 健診・ 検診事 業	一般健康診断	745	514	675	1,271	1,047	940	5,192	
	健康保険組合健康診断	118	181	270	304	240	203	1,316	
	協会けんぽ生活習慣病予防健診	441	655	681	229	174	324	2,504	
	シニア健診	12	16	17	10	3	5	63	
	特定健康診査（社保）	5	12	14	24	9	21	85	
	計	1,321	1,378	1,657	1,838	1,473	1,493	9,160	
受託 健診・ 検診事 業	ヘルスチェック（国保加入者）	0	0	0	66	36	37	139	
	乳がん検診	19	31	202	182	136	235	805	
	学童検診	0	7	18	0	0	0	25	
	計	19	38	220	248	172	272	969	
高度 医療 機器の 共同 利用 事業	検査 外来	MR I 検査	327	331	337	311	295	265	1,866
		CT 検査	296	273	273	292	291	239	1,664
		内視鏡検査	13	11	19	20	18	20	101
		超音波検査	196	191	217	213	197	144	1,158
		乳房検査	55	44	68	78	66	54	365
		肺がん、結核二次検診	0	2	28	130	107	85	352
	その他	骨密度測定	7	11	8	9	4	4	43
		上部消化管検査	0	0	2	1	2	0	5
		注腸検査	0	0	0	0	1	0	1
		腎孟造影検査	0	0	0	0	0	0	0
		その他の検診・検査等	53	54	37	58	58	41	301
		小計	53	54	39	59	61	41	307
		計	947	917	989	1,112	1,039	852	5,856
	合 計		2,287	2,333	2,866	3,198	2,684	2,617	15,985

資料

別表(1)

平成30年度健診・検診、検査外来実績(10月～3月) 【公益目的事業】

(単位:人)

事業区分			H30年度実績(10月～3月)							H30年度実績 ①+② (4月～3月) (a)	H29年度 実績 (b)	前年度 増減 (a)-(b)	前年度比 (a)/(b)
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計② (10月～3 月)				
事業所等 健診・ 検診事 業	一般健康診断	1,293	903	730	439	579	485	4,429	9,621	9,731	△ 110	98.9%	
	健康保険組合健康診断	277	284	235	181	252	218	1,447	2,763	2,708	55	102.0%	
	協会けんぽ生活習慣病予防健診	352	676	539	506	536	284	2,893	5,397	5,221	176	103.4%	
	シニア健診	12	9	15	11	9	21	77	140	131	9	106.9%	
	特定健康診査(社保)	25	26	15	8	11	18	103	188	180	8	104.4%	
	計	1,959	1,898	1,534	1,145	1,387	1,026	8,949	18,109	17,971	138	100.8%	
受託 健診・ 検診事 業	ヘルスチェック(国 保加入者)	49	52	49	66	87	161	464	603	659	△ 56	91.5%	
	乳がん検診	351	244	142	163	269	328	1,497	2,302	2,133	169	107.9%	
	学童検診	0	0	0	0	0	0	0	25	30	△ 5	83.3%	
	計	400	296	191	229	356	489	1,961	2,930	2,822	108	103.8%	
高度医療機器の 共同利用事業	MRI検査	360	313	256	242	301	311	1,783	3,649	3,843	△ 194	95.0%	
	CT検査	304	277	252	220	221	246	1,520	3,184	2,944	240	108.2%	
	内視鏡検査	26	22	15	11	11	9	94	195	323	△ 128	60.4%	
	超音波検査	215	185	141	143	137	171	992	2,150	2,203	△ 53	97.6%	
	乳房検査	86	84	57	55	64	75	421	786	893	△ 107	88.0%	
	肺がん、結核二次検診	154	170	53	11	2	1	391	743	891	△ 148	83.4%	
	骨密度測定	1	5	2	3	5	2	18	61	164	△ 103	37.2%	
	その他の 検査	上部消化管 検査	0	0	3	1	1	0	5	10	18	△ 8	55.6%
		注腸検査	0	1	0	0	0	0	1	2	4	△ 2	50.0%
		腎孟造影検 査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
		その他の検 診・検査等	57	63	45	59	55	59	338	639	649	△ 10	98.5%
		小計	57	64	48	60	56	59	344	651	671	△ 20	97.0%
	計	1,203	1,120	824	745	797	874	5,563	11,419	11,932	△ 513	95.7%	
	合計	3,562	3,314	2,549	2,119	2,540	2,389	16,473	32,458	32,725	△ 267	99.2%	

資料

別表（2）

平成30年度保健事業実績（4月～9月）【公益目的事業1】

事業名	主な内容	30年度実績 (4月～9月)①		
		開催数	参加者数 (a)	
(4) 保健事業				
① 健康づくり個別支援事業				
健康支援プログラム事業	健康づくり目標達成に向けた、個別の支援プログラムの提供	—	108	
生活習慣病予防等事業	健康寿命延伸のため健康増進計画(第2次)における7分野を基にした健康教育	—	373	
健康度チェック	健診機会のない方や運動を開始する方のための健康診断	—	18	
体力度チェック	体力測定を含むメディカルチェック	—	293	
健康づくりトレーニング	健康づくりを目的とするトレーニング	—	13,270	
健康寿命延伸支援事業	健康づくり運動開始の楽しいきっかけづくり	22	205	
各種健康保険組合被保険者への支援事業				
動機付け・積極的支援	社会保険被保険者・被扶養者対象の特定保健指導(動機付け支援・積極的支援)	—	0	
② 健康づくり地域普及事業				
地域支援事業	健康づくりサポーター養成や市民団体に対する運動定着支援、軽体操の普及啓発	68	1,791	
地域派遣事業	市民団体と連携しながら地域に根ざした健康支援	7	4,411	
医師会との連携事業	生活習慣病及びロコモの基礎知識、食生活・運動の習慣改善を理解する	1	52	
③ 介護予防・障がい者の支援に関する事業				
コンディショニングトレーニング	マシンを使わない運動や体操を定期的に行う	119	3,586	
介護予防事業 ※1	ロコモ対策としての運動実践で、介護を必要としない生活を目指す	11	119	
障がい者等生活改善相談	障害者・高齢者等の日常生活のQOL向上を図るための相談事業	54	128	
(5) 国保特定保健事業				
特定保健指導				
動機付け支援	メタボリックシンドローム予備群の人への健康支援	—	35	
積極的支援	メタボリックシンドロームの人への健康支援	—	3	
特定健診結果説明会(旧ヘルスアップ教室)	藤沢市国民健康保険加入者で特定健診を受けた方向けの健診結果説明会	—	24	
国保ヘルスチェック事業				
ヘルスチェック健康支援	ヘルスチェック受診者への保健指導	—	112	
ヘルスチェック受診勧奨	ヘルスチェック受診対象者に受診勧奨を行う	—	0	
ヘルスチェック保健指導	階層化により対象となった方に藤沢市特定保健指導に準じた保健指導を実施する	—	0	
要医療者への受診勧奨	ヘルスチェックの結果により要医療となった方に受診勧奨を行う	—	0	
特定保健指導利用勧奨事業				
特定保健指導対象者健診結果説明会	特定保健指導対象者に対し、集団で行う保健指導を実施する	—	24	
特定保健指導利用勧奨	特定保健指導対象に対して電話による利用勧奨を行う	—	305	
特定保健指導利用者への特定健診の受診勧奨	前年度の特定保健指導利用者に対して特定健診の受診勧奨を行う	—	0	
特定保健指導実施機関研修会	特定保健指導の進め方等について実施機関に対して伝える研修会を開催する	—	34	
特定健診受診勧奨等				
対象者への受診勧奨	条件設定に当てはまる対象者へ特定健診の受診勧奨を行う	—	1,345	
健康診査票確認業務	健康診査票の内容確認と必要に応じて医療機関や本人へ電話確認を行う	—	800	

※1 H30年度は、「ロコモティブシンドローム予防チャレンジ講座」事業

資料

別表 (2)

平成30年度保健事業実績（10月～3月）【公益目的事業1】

事業名	主な内容	30年度実績 (10月～3月)②		30年度実績 合計①+②		29年度 実績		前年 同月比 (a/b)		
		開催数	参加者数 (a)	開催数	参加者数 (a)	開催数	参加者数 (b)			
(4) 保健事業										
①健康づくり個別支援事業										
健康支援プログラム事業	健康づくり目標達成に向けた、個別の支援プログラムの提供	—	162	—	270	—	369	73.2%		
生活習慣病予防等事業	健康寿命延伸のため健康増進計画(第2次)における7分野を基にした健康教育	—	249	—	622	—	494	125.9%		
健康度チェック	健診機会のない方や運動を開始する方のための健康診断	—	21	—	39	—	41	95.1%		
体力度チェック	体力測定を含むメディカルチェック	—	273	—	566	—	569	99.5%		
健康づくりトレーニング	健康づくりを目的とするトレーニング	—	12,998	—	26,268	—	25,604	102.6%		
健康寿命延伸支援事業	健康づくり運動開始の楽しいきっかけづくり	24	195	46	400	73	1,240	32.3%		
各種健康保険組合被保険者への支援事業										
動機付け・積極的支援	社会保険被保険者・被扶養者対象の特定保健指導(動機付け支援・積極的支援)	—	8	—	8	—	12	66.7%		
②健康づくり地域普及事業										
地域支援事業	健康づくりサポーター養成や市民団体に対する運動定着支援、軽体操の普及啓発	67	2,526	135	4,317	109	4,864	88.8%		
地域派遣事業	市民団体と連携しながら地域に根ざした健康支援	18	858	25	5,269	29	4,929	106.9%		
医師会との連携事業	生活習慣病及びロコモの基礎知識、食生活・運動の習慣改善を理解する	1	27	2	79	2	62	127.4%		
③介護予防・障がい者の支援に関する事業										
コンディショニングトレーニング	マシンを使わない運動や体操を定期的に行う	118	3,994	237	7,580	239	7,604	99.7%		
介護予防事業 ※1	ロコモ対策としての運動実践で、介護を必要としない生活を目指す	13	137	24	256	24	300	85.3%		
障がい者等生活改善相談	障害者・高齢者等の日常生活のQOL向上を図るためにの相談事業	58	146	112	274	103	287	95.5%		
(5) 国保特定保健事業										
特定保健指導										
動機付け支援	メタボリックシンドローム予備群の人への健康支援	—	170	—	205	—	127	161.4%		
積極的支援	メタボリックシンドロームの人への健康支援	—	19	—	22	—	11	200.0%		
特定健診結果説明会(旧ヘルスアップ教室)	藤沢市国民健康保険加入者で特定健診を受けた方向けの健診結果説明会	—	44	—	68	—	118	57.6%		
国保ヘルスチェック事業										
ヘルスチェック健康支援	ヘルスチェック受診者への保健指導	—	491	—	603	—	513	117.5%		
ヘルスチェック受診勧奨	ヘルスチェック受診対象者に受診勧奨を行う	—	3,519	—	3,519	—	—	—		
ヘルスチェック保健指導	階層化により対象となった方に藤沢市特定保健指導に準じた保健指導を実施する	—	0	—	0	—	—	—		
要医療者への受診勧奨	ヘルスチェックの結果により要医療となつた方に受診勧奨を行う	—	50	—	50	—	—	—		
特定保健指導利用勧奨事業										
特定保健指導対象者健診結果説明会	特定保健指導対象者に対し、集団で行う保健指導を実施する	—	113	—	137	—	—	—		
特定保健指導利用勧奨	特定保健指導対象に対して電話による利用勧奨を行う	—	1,787	—	2,092	—	2,075	100.8%		
特定保健指導利用者への特定健診の受診勧奨	前年度の特定保健指導利用者に対して特定健診の受診勧奨を行う	—	0	—	0	—	—	—		
特定保健指導実施機関研修会	特定保健指導の進め方等について実施機関に対して伝える研修会を開催する	—	20	—	54	—	—	—		
特定健診受診勧奨等										
対象者への受診勧奨	条件設定に当てはまる対象者へ特定健診の受診勧奨を行う	—	144	—	1,489	—	—	—		
健康診査票確認業務	健康診査票の内容確認と必要に応じて医療機関や本人へ電話確認を行う	—	200	—	1,000	—	—	—		

※1 H30年度は、「ロコモティッシュンドローム予防チャレンジ講座」事業

資料

別表 (3)

平成30年度介護保険事業実績（4月～9月）【公益目的事業2】

(1) 訪問看護事業（4月～3月）

(4月～9月)

区分		4月		5月		6月		7月		8月		9月	
件数	看護	55	99	53	97	57	95	58	96	56	93	55	92
	リハビリ	3		5		6		3		5		4	
	看護+リハビリ	41		39		32		35		32		33	
看護回数	医療	150	388	175	434	181	435	178	441	164	453	137	373
	介護	238		259		254		263		289		236	
リハビリ回数	医療	45	115	53	125	36	85	36	82	36	81	29	72
	介護	70		72		49		46		45		43	
回数合計		503	559		520		523		534		445		
区分		小計(4～9)		合計①		月平均		(区分欄)					
件数	看護	334	572	95.3									
	リハビリ	26											
	看護+リハビリ	212											
看護回数	医療	985	2,524	420.7									
	介護	1,539											
リハビリ回数	医療	235	560	93.3									
	介護	325											
回数合計		3,084	3,084		514.0								

(10月～3月)

区分		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
件数	看護	52	88	62	101	62	102	61	102	61	103	60	104
	リハビリ	5		5		6		5		5		3	
	看護+リハビリ	31		34		34		36		37		41	
看護回数	医療	155	419	180	521	163	407	143	391	141	388	155	409
	介護	264		341		244		248		247		254	
リハビリ回数	医療	44	102	43	104	42	108	42	105	38	102	42	113
	介護	58		61		66		63		64		71	
回数合計		521	625		515		496		490		522		
区分		小計(10～3)		合計②		月平均							
件数	看護	358	600	100.0									
	リハビリ	29											
	看護+リハビリ	213											
看護回数	医療	937	2,535	422.5									
	介護	1,598											
リハビリ回数	医療	251	634	105.7									
	介護	383											
回数合計		3,169	3,169		528.2								

区分		H30年度			【参考】H29年度				
区分		合計(4～3)	総合計①+②	月平均	合計(4～3)	総合計	月平均		
件数	看護	692	1,172	97.7	691	1,644	137.0		
	リハビリ	55			527				
	看護+リハビリ	425			426				
看護回数	医療	1,922	5,059	421.6	1,982	5,065	422.1		
	介護	3,137			3,083				
リハビリ回数	医療	486	1,194	99.5	1,027	3,483	290.3		
	介護	708			2,456				
回数合計		6,253	6,253		521.1	8,548			
						8,548			
						712.3			

資料

別表（3）

平成30年度介護保険事業実績（10月～3月）【公益目的事業2】

（2）居宅介護支援事業（4月～3月）

【ケアプラン】

（単位：件）

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計①	月平均
介護保険	80	86	88	86	86	94	520	86.7
要支援者予防	14	14	13	16	18	20	95	15.8
計	94	100	101	102	104	114	615	102.5
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計②	月平均
介護保険	92	90	86	88	94	96	546	91.0
要支援者予防	19	18	23	20	23	18	121	20.2
計	111	108	109	108	117	114	667	111.2
区分	H30年度 ①+②		【参考】 H29年度					
	合計	月平均	合計	月平均				
介護保険	1,066	88.8	937	78.1				
要支援者予防	216	18.0	147	12.3				
計	1,282	106.8	1,084	90.3				

【認定調査】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計③	月平均
認定調査	6	11	9	14	14	10	64	10.7
区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計④	月平均
認定調査	16	12	9	13	10	11	71	11.8
区分	30年度 ③+④		【参考】29年度					
	合計	月平均	合計	月平均				
認定調査	135	11.3	135	11.3				

資料

別表（4）

平成30年度保険調剤薬局運営事業実績（4月～3月）【公益目的事業3】

(受付処方せん枚数)

(単位：枚)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計①
H30年度	705	1,000	528	845	681	774	4,533
H29年度	930	1,131	558	934	739	746	5,038
前年度増減	△ 225	△ 131	△ 30	△ 89	△ 58	28	△ 505
前年比	75.8%	88.4%	94.6%	90.5%	92.2%	103.8%	90.0%

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計②	合計 ①+②	月平均
H30年度	629	707	1,702	3,631	1,446	728	8,843	13,376	1,115
H29年度	704	714	1,795	3,252	1,973	835	9,273	14,311	1,193
前年度増減	△ 75	△ 7	△ 93	379	△ 527	△ 107	△ 430	△ 935	△ 78
前年比	89.3%	99.0%	94.8%	111.7%	73.3%	87.2%	95.4%	93.5%	93.5%

資料

別表（5）

公益財団法人藤沢市保健医療財団 役員及び評議員

(ア) 役員

(理事 14人、監事 2人)

職名	氏名	役員就任年月日	現職
理事長	鈴木紳一郎	2017年6月1日	藤沢市医師会会长
副理事長	渡部 敏夫	2017年6月1日	藤沢市保健医療センター参与
副理事長	満山 大吉	2017年7月1日	藤沢市医師会理事
専務理事	明間 勤子	2017年6月1日	藤沢市保健医療センター所長
常務理事	林 晃	2017年6月1日	藤沢市保健医療センター管理部長
理事	姫野 秀朗	2017年6月1日	藤沢市保健医療センター副所長
理事	飯塚 健児	2017年6月1日	藤沢市医師会副会長
理事	酒井 辰彦	2017年7月1日	藤沢市医師会副会長
理事	鈴木 聰行	2017年6月1日	藤沢市歯科医師会会长
理事	平山 勝徳	2017年7月1日	藤沢市歯科医師会副会長
理事	齊藤 祐一	2017年6月1日	藤沢市薬剤師会会长
理事	伊藤 貞彦	2017年6月1日	藤沢市薬剤師会副会長
理事	蓑原 純一	2017年6月1日	藤沢市福祉健康部参事兼福祉健康総務課長
理事	中島 徳幸	2017年6月1日	藤沢市福祉健康部保健所副所長
監事	福井 聰	2015年5月28日	公認会計士
監事	小泉 英明	2017年6月1日	藤沢市会計管理者

2018年(平成30年)4月1日現在

資料

別表（6）

公益財団法人藤沢市保健医療財団 役員及び評議員

(イ) 評議員

(10人)

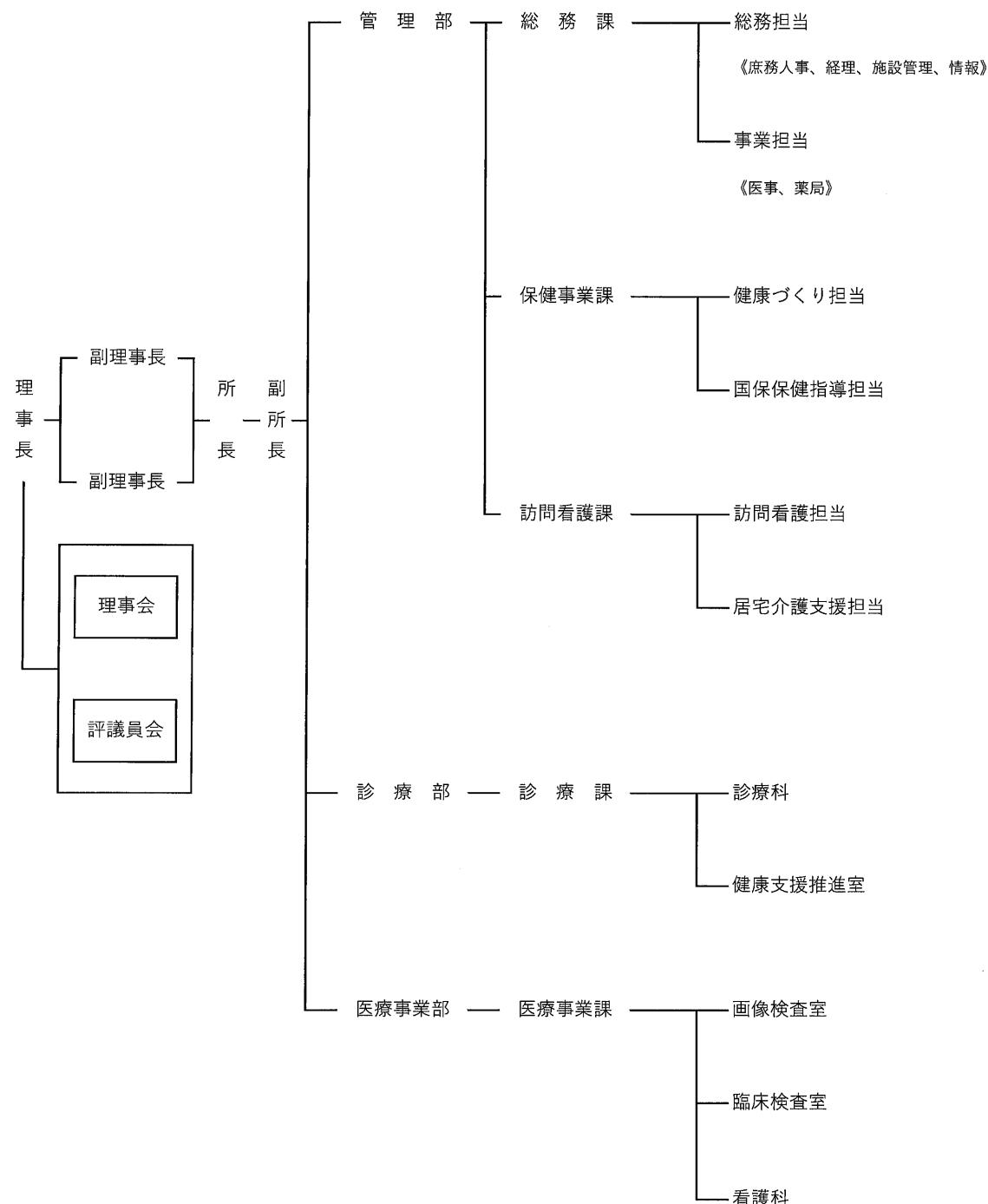
氏名	就任年月日	現職
捧 恵一	2015年5月28日	社会福祉法人竹生会（芭蕉苑施設長）
山内 慶太	2015年5月28日	慶應義塾大学看護医療学部教授 大学院健康マネジメント研究科
河野智英子	2017年7月1日	藤沢市医師会代議員議長
野村 勝則	2017年7月1日	藤沢市歯科医師会副会長
村上 和宣	2015年7月1日	藤沢市薬剤師会副会長
片山 瞳彦	2017年4月1日	藤沢市福祉健康部長
江越 幸治	2015年5月28日	藤沢商工会議所副会頭
河西 悅子	2016年6月2日	元神奈川県立総合療育相談センター所長
浅野 朝子	2016年6月2日	藤沢市民生委員児童委員協議会会长
川原田 武	2016年6月2日	藤沢市湘南大庭地区社会福祉協議会会长

2018年(平成30年)4月1日現在

資料

別表(7)

公益財団法人藤沢市保健医療財団 組織図



2018年(平成30年)4月1日現在